

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		心身障害者タクシー利用料金助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010503000501
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	040101
政策体系	総合計画の施策名	0105 障がい者福祉の充実				主要事業	対象外	社会福祉課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	05 障がい者福祉の充実				未来PJ事業	対象外	障がい者支援G	
	手段名	03 ③社会参加の促進				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	01	03	01	00	障害者福祉事業		
法令根拠		桜川市心身障害者タクシー利用料金助成事業実施要綱							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>心身障害者に対し、医療機関若しくは機能回復訓練又は社会参加等への往復に要するタクシー料金の一部を助成することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的とする。</p> <p>年間48枚を限度に助成券を交付し、契約を結んでいるタクシー会社を利用した場合、料金の半額 (上限は1,000円) を助成する。該当する障害程度は、1種の身体障害者、OA・Aの療育手帳所持者、1、2級の精神保健福祉手帳所持者。自動車税の減免を受けている障害者はタクシー券の交付を受けることができない。年度の途中で手帳の交付となった者は、手帳の交付月に応じ、1ヶ月当たり4枚を限度として交付する。</p> <p>平成31年4月1日より、市外への利用と精神福祉手帳2級所持者への利用の拡大の規則の改正を実施した。</p>	<p>通年一申請の受付、助成券の発行、自動車税の減免を受けている者がタクシー券の助成を受けていないかの調査、タクシー会社からの請求に基づく支払い(月単位)</p> <p>2月一次年度の助成券の印刷業者の選定、印刷依頼</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
平成30年度申請受付件数(利用者数) 37人 扶助費支払、利用回数 667回	タクシー券利用者数	人	42.00	37.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
1種の身体障害者、OA・Aの療育手帳所持者、1、2級の精神保健福祉手帳所持者 (自動車税・軽自動車税の減免を受けている物は除く)	身体障害者手帳所持者 (1種)	人	0.00	973.00	973.00	973.00	973.00
	療育手帳所持者 (OA、A)	人	196.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	精神保健福祉手帳所持者 (1、2級)	人	149.00	141.00	141.00	141.00	141.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
重度の心身障害者のタクシー利用料金の負担を軽減する。	延べ利用回数	回	529.00	667.00	670.00	670.00	670.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	544	472	480
		事業費計 (A) 千円	544	472	480
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)		01年度事業費 予算 (千円)	
	20 扶助費	472	20 扶助費	480
	合計	472	合計	480

(4) 当該年度の実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	心身障害者タクシー利用料金助成事業	事務事業No.	10503000501	所属課	社会福祉課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 旧岩瀬町でタクシー利用料の助成制度を行っていたため、合併後も桜川市で行っている。合併前の制度では対象となる等級が知的ではBまでだったが、現在はAまでである。平成19年度から身体障害者、知的障害者だけでなく、精神障害者も対象となった。平成20年度からデマンドタクシーが始まり利用者が減少したが、デマンドと並行して利用する方も見受けられ減少傾向は収まりつつある。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 平成31年4月より、市外への利用できるよう、規則の改正を実施した。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	障がい者の自立、社会参加の促進につながっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	公共交通機関が十分でない中、障がい者が病院等へ通うための交通費の負担が軽減される。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	手帳を新規に取得する者に対し、事業の案内を行い、利用券の交付者数(利用者数)の向上を図っているのが適正である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	重度の障がい者の外出への経済的な負担が大きくなり、通院や社会参加が制限される可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	デマンド型タクシーは乗り合わせなので、車いすの利用者や視覚障がい者等がデマンド型タクシーを利用することは困難である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	助成額、交付枚数を下げずに事業費を削減することはできない。人件費はタクシー助成券の交付事務だけなので削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	助成額は乗車運賃の半額(助成上限額1,000円)なので、利用者にも負担がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	福祉タクシー利用料金助成とデマンド型タクシーを並行利用する方も多い。デマンド型タクシーは、土日・夜間は運行していない事などのデメリットがあり、それらの点を補う意味で福祉タクシー利用料金の助成は必要である。人工透析を受けている対象者の利用回数の拡大も検討の余地がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							
		コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>